



平成30年度

事業報告書

学校法人 日本航空学園

目次

1. 法人の概要

- (1) 建学の精神
- (2) 学校法人の沿革
- (3) 設置する学校・学部・学科等
 - ① 学校・学部・学科一覧
 - ② 所在地一覧
- (4) 学校・学部・学科等の学生数の状況
 - ① 入学定員、収容定員、現員数 等
- (5) 役員の概要
 - 理事、監事
- (6) 評議員の概要
- (7) 教職員の概要
 - ① 教職員数
- (8) その他
 - ① 日本航空学園概要～組織体制

2. 事業の概要

【学校法人】

- (1) 運営上の基本方針
 - ① 学生募集
 - ② キャンパス施設の増築
 - ③ 経営管理体制の強化
 - ④ 航空人材育成への貢献

【日本航空専門学校】

- (1) 管理、運営方針
 - ① 運営上の基本方針
 - ② 組織運営体制の強化推進
 - ③ 危機管理体制
- (2) 教育関係
 - 教育課程
 - ① 航空整備科
 - ② 空港技術科
 - ③ 国際航空ビジネス科

- (3) 特色教育の推進
- (4) 学生生徒募集・広報活動
- (5) 学生生徒活動への支援
 - ① クラブ活動等
 - ② 課外活動への支援
- (6) 施設設備整備
 - ① 既存校舎の改修状況
 - ② 新校舎（寮）建設工事
 - ③ 実習機材整備

【(専) 日本航空大学校】

- (1) 管理、運営方針
 - ① 学校の教育目標・理念・特色
 - ② 組織運営体制の強化推進
 - ③ 危機管理体制
- (2) 教育関係
 - 教育課程
 - ① 航空工学科
 - ② 航空整備科
 - ③ 航空整備技術科
 - － 1 技術コース、ドローンコース
 - － 2 ドローンコース
 - ④ 操縦科
 - ⑤ 航空ビジネス科
- (3) 特色教育の推進
- (4) 学生生徒募集・広報活動

【日本航空高等学校】

- (1) 管理、運営方針
 - ① 学校の教育目標・理念・特色
 - ② 組織運営体制
 - ③ 危機管理体制
- (2) 教育関係
 - 教育課程
 - ① 航空科
 - ② 普通科

- ③ 通信制課程
- (3) 特色教育の推進
- (4) 学生生徒活動への支援
 - ① 部活動等
 - ② 課外活動への支援
 - ③ 校外学習
 - ④ 日本航空学園オリジナルミュージカル開催

【日本航空高等学校石川】

- (1) 管理、運営方針
 - ① 学校の教育目標・理念・特色
 - ② 組織運営体制
 - ③ 危機管理体制
- (2) 教育関係
 - 教育課程
 - ① 航空科
- (3) 特色教育の推進
- (4) 学生生徒活動への支援
 - ① 部活動等
 - ② 課外活動への支援
 - ③ 校外学習
 - ④ 日本航空学園オリジナルミュージカル開催

3. 財務の概要

- (1) 決算の概要
 - ① 貸借対照表の状況
 - ② 収支計算書の状況
- (2) 経年比較
 - ① 貸借対照表
 - ② 収支計算書
 - ア 資金収支計算書
 - イ 事業活動収支計算書
- (3) 主な財務比率比較

1. 法人の概要

(1) 日本航空学園 建学の精神

日本航空学園の創立者「梅沢義三」は、建学の精神を『航空教育を通して愛国の精神を培う』と心に決め、昭和 7 年に「山梨航空機関学校」を設立しました。航空教育を行い、国家に有益な航空技術者を養成するにあたり、自分を愛し、家族を愛し、郷土を愛し、国を愛し、そして人類の共存に責任を持てる航空技術者であればこそ、愛機心を以て操縦や整備に当たることができるとの信念に基づいて教育を始めました。

二代目理事長「梅沢鋭蔵」は、創立者の建学の志を基に、校訓を定めました。そして、現在の理事長「梅沢重雄」は、建学の志や先代が定めた校訓を基に、より豊かで優れた人間力を持つ人材の育成を目指して、「J-ship」という教育コンセプトを定めました。

校訓

- 一、礼節を尊び忍耐努力の精神を体得すべし
- 一、熟慮断行以て風林火山たるべし
- 一、至誠一貫信義を重んずべし
- 一、質実剛健文武両道に徹すべし
- 一、敬神崇祖以て伝統を承継し祖国を興隆すべし

(2) 学校法人の沿革

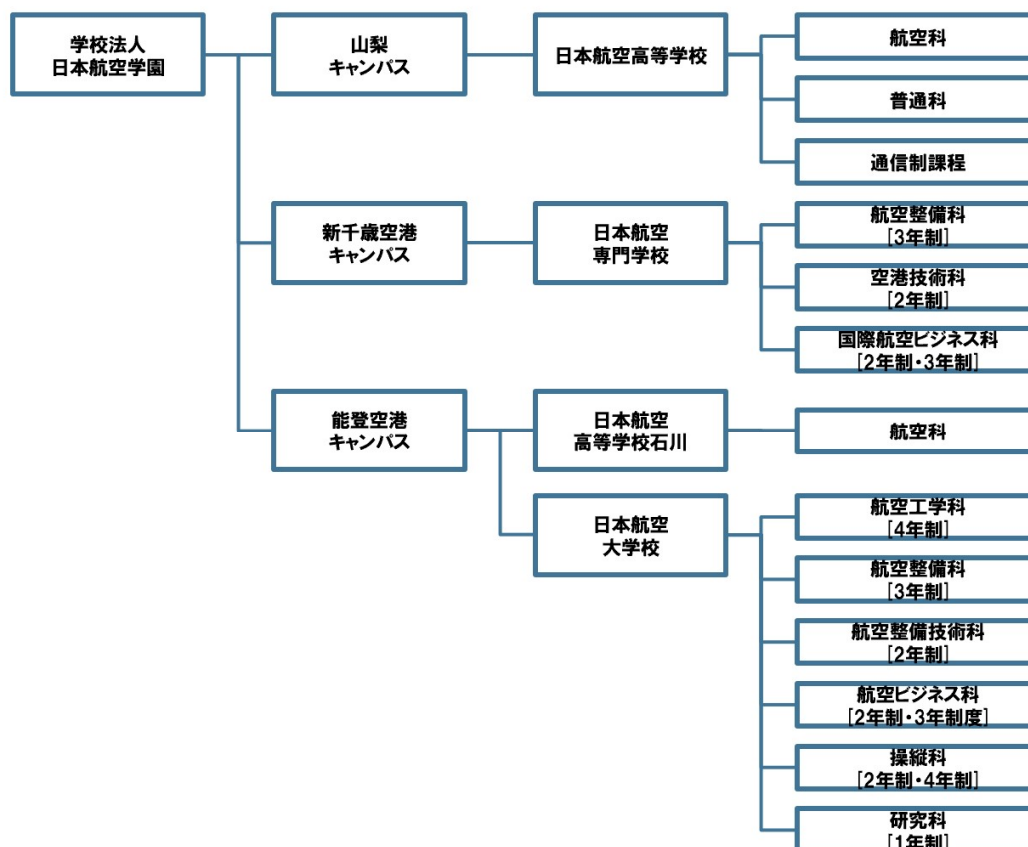
沿革

(平成31年3月31日現在)

昭和 7年10月	山梨県甲府市郊外で航空発動機練習所開設
昭和 8年 2月	山梨県中巨摩郡玉幡村に40平方メートルの飛行場を開設
昭和11年 8月	財団法人山梨航空飛行研究所を設立し山梨飛行場を設置
昭和14年 4月	山梨航空機関学校として航空整備士養成の専門学校となる。
昭和20年 8月	終戦により閉校
昭和35年 3月	航空高等学校の設置認可を受け航空教育を再開
昭和39年 6月	学校法人日本航空学園 日本航空工業高等学校と改称
昭和45年 8月	日本航空専門学校(各種学校)の認可取得
昭和45年10月	日本航空専門学校の設置認可を受ける
昭和51年 5月	日本航空大学校(専修学校専門課程)の認可取得
昭和54年 8月	日本航空工業高等学校を日本航空高等学校と改称
昭和62年12月	日本航空学園千歳校設立認可(専修学校専門課程)
平成 6年 4月	日本航空学園千歳校を日本航空専門学校に改称
平成10年	全国国等学校野球選手権大会 春夏連続甲子園出場(山梨)
平成11年 3月	日本航空高等学校通信制課程の認可取得
平成15年 4月	石川県輪島市へ日本航空大学校が移転、日本航空第二高等学校を新設
平成15年 8月	同年7月能登空港開港に伴い、フライト訓練等における空港施設利用開始
平成16年 4月	日本航空専門学校が国土交通大臣指定航空従事者養成施設となる
平成17年 2月	日本航空大学校が国土交通省指定航空整備訓練課程となる
平成17年 4月	日本自動車専門学校を日本航空総合専門学校に改称
平成18年 4月	日本航空総合専門学校を日本航空大学校山梨に改称 操縦科を新設
平成21年 4月	日本航空第二高等学校を日本航空高等学校石川と改称
平成28年 4月	航空整備科にヘリコプタ整備士コースを新設 操縦科に4年制課程新設
平成29年～30年	日本航空高等学校石川 神宮大会及び春夏連続甲子園出場

(3) 設置する学校・学部・学科等

① 学校・学部・学科一覧



② 所在地一覧

高等学校	日本航空高等学校	
	山梨キャンパス	
	全日制	山梨県甲斐市宇津谷4-4-5番地
	通信制	山梨県甲斐市宇津谷4-4-5番地
	東京目黒サテライト	東京都目黒区下目黒2丁目14番14号 JAAビル
	能登空港キャンパス	石川県輪島市三井町洲衛9部2-7番地7
専門学校	日本航空大学校	石川県輪島市三井町洲衛9部2-7番地7
	日本航空専門学校	北海道千歳市泉沢1007番地95

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況

① 入学定員、収容定員、現員数 等

	学科	課程	入学定員	収容定員	学生数
日本航空 高等学校	航空科	3年制	40	120	153
	普通科	3年制	200	600	580
日本航空 高等学校 通信制課程	航空科	3年制	-	600	24
	普通科	3年制	-	2,400	2,078
日本航空 高等学校 石川	航空科	3年制	200	720	699
(専)日本 航空大学校	航空工学科	4年制	40	160	139
	航空整備科	3年制	60	180	113
	航空整備技術科	2年制	60	120	75
	航空ビジネス科	2・3年制	40	100	218
	操縦科	2年制	5	10	3
		4年制	5	20	57
研究科	1年制	10	10	1	
日本航空 専門学校	航空整備科	3年制	106	318	296
	空港技術科	2年制	80	160	192
	国際航空ビジネス科 エアラインコース	2年制	80	200	174
	国際航空ビジネス科 エアライン・留学コース	3年制			

(5) 役員概要

理事 7人

	氏名	就任日
理事長	梅沢 重雄	H31. 04. 01
理事	梅沢 忠弘	H31. 04. 01
理事	浅川 正人	H31. 04. 01
理事	若尾 磯男	H31. 04. 01
理事	芦澤 薫	H31. 04. 01
理事	小野 次郎	H31. 04. 01
理事	北澤 誠	H31. 04. 01

監事 2人

	氏名	就任日
監事	山田 一功	H31. 07. 10
監事	園原 隆敏	H31. 04. 01

(6) 評議員概要

評議員 15人

(寄附行為専任条文)

第24条第1項第1号	6人
第24条第1項第2号	2人
第24条第1項第3号	3人
第24条第1項第4号	4人

	氏名	就任日
評議員	梅沢 重雄	H31. 04. 01
評議員	梅沢 忠弘	H31. 04. 01
評議員	梅沢 保隆	H31. 04. 01
評議員	浅川 正人	H31. 04. 01

	氏名	就任日
評議員	篠原 雅成	H31. 04. 01
評議員	小林 学	H31. 04. 01
評議員	馬場 欽也	H31. 04. 01
評議員	中嶋 香代子	H31. 04. 01
評議員	秋山 博	H31. 04. 01
評議員	若尾 磯男	H31. 04. 01
評議員	岡本 博史	H31. 04. 01
評議員	芦澤 薫	H31. 04. 01
評議員	功刀 裕樹	H31. 04. 01
評議員	青木 洋介	H31. 04. 01
評議員	相良 まみ	H31. 04. 01

(7) 教職員の概要

① 教職員数

学校別教職員数

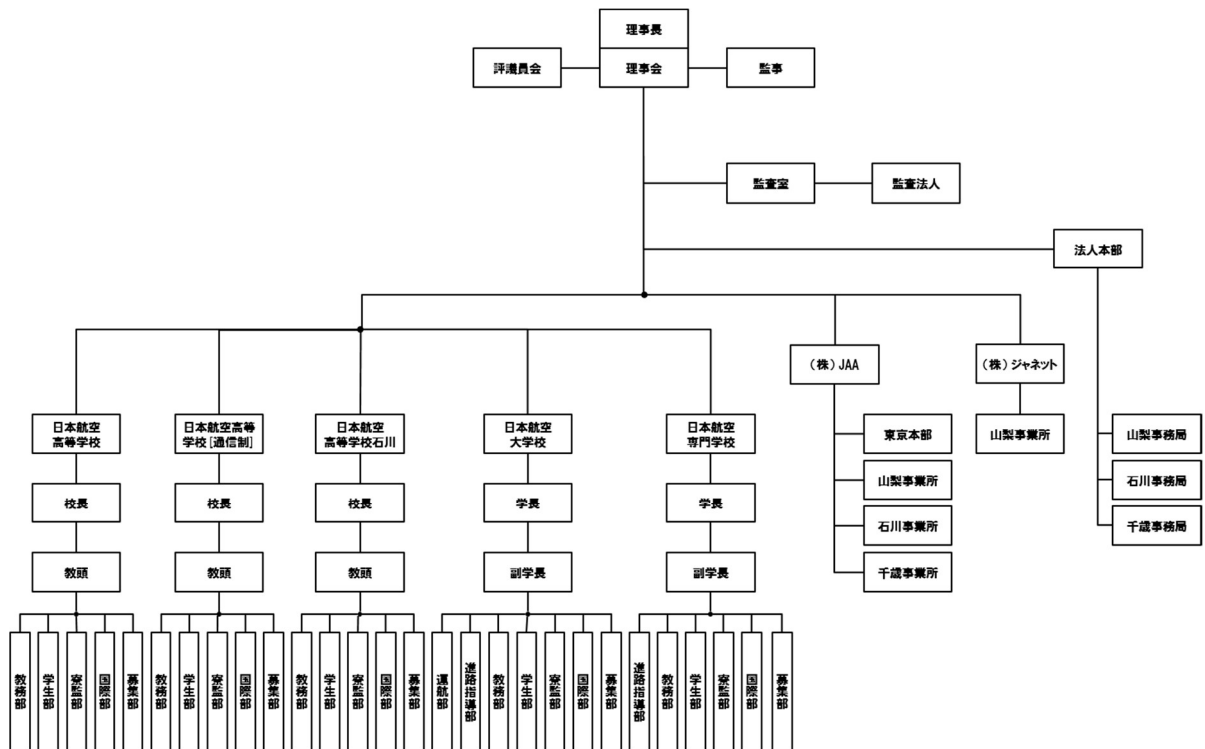
(令和1年5月1日現在) (人)

		航空 高校	高校 通信制	航空 専門学校	航空 大学校	航空石川 高校
教 職 員	専任教員					
	教諭	43	18	35	43	35
	講師		2	3		1
	計	43	20	38	43	36
	職員	59	2	29	7	44
	専任教職員合計	102	22	67	50	80
	非常勤講師	8	2	5	7	5
合計	110	24	72	57	85	

(8) その他

① 日本航空学園概要 ～組織体制

日本航空学園組織図



2. 事業の概要

【学校法人】

(1) 運営上の基本方針

本学園は昭和7年に我が国最古・最大の航空学校としてスタートした。それ以降、本校の生徒たちがしっかりとした人生観、世界観、価値観を持ち、それぞれの国で平和の担い手として活躍できる精神と技術を習得することを目標に教育を行っている。

航空業界の発展に伴い、航空人材の育成が急務となっているが、我が国における航空人材の育成はまだまだ不足している状況である。本学園では、航空人材の育成に貢献する為、中期経営計画を策定・推進している。昨年度は、中期経営計画に基づき以下の取組を推進してきた。

① 学生募集

本学園を認知している学生に更に興味を持ってもらう為、体験型施策（オープンキャンパス・航空祭（体育祭）・そらゼミ（体験授業）等）を充実させ、積極的に学生を誘致し、入学生増加率の向上を図ってきた。昨年度においては、オープンキャンパスやそらゼミの体験内容を一部見直し、本学園卒業生の体験授業への参加など、本学園に対して更に興味を持ってもらう様に内容を改善した。

② キャンパス施設の増築

本学園への入学希望者数は年々増加傾向にあり、今後の学生数の増加に対応し得るだけのキャパシティの確保が急務である。昨年度より、新千歳空港キャンパスにおける校舎・寮の増築を計画し、現在、建設を推進中である。

③ 経営管理体制の強化

経営管理体制を強化し、より迅速且つ正確な経営判断を行う為、昨年度より内部ルール・体制の更なる改善を図ってきた。予実管理体制においては、より迅速に予実差分を特定・改善アクションを実行出来るオペレーションを構築した。

④ 航空人材育成への貢献

航空業界の発展に伴い、航空人材の需要はますます増加傾向にあり、パイロット・整備士・CA等の航空人材は今後各職種数十万人規模の人材不足が見込まれている。かかる状況下、航空人材の育成は急務であり、航空関連企業各社からの研修実施等の要望が多い。本学園においては、学生が利用しない時間を活用し、施設・設備を活用した法人研修を実施することで、企業各社からの需要に対応するだけでなく、学生と航空関連企業との繋がりを強化した。今後も、継続して法人研修を実施していく想定である。

【日本航空専門学校】

(1) 管理、運営方針

① 運営上の基本方針

教育の理念・目標においては、建学の精神をもとに、校訓・J-ship・ブランドプロポジション等、具体的かつ明確に定め、学科ごと企業との連携を図り社会に求められる人材育成を行っている。

航空業界に勤める人材不足が続く中、本校は優れた人材を育成するために、事業計画に沿って施設・設備の充実を図り、学生の教育環境を改善している。

運営組織については、キャンパス統合により全学科同じキャンパス内に設置し、効率的に運営を行っていく。各部署をまたいでの委員会組織を再構築して、学生も同じ委員会をつくり、教員と学生による円滑な学校運営を目指している。

教育活動に関する情報公開については、各種行事活動(イベント・ボランティア等)を始め、就職状況、学校近況報告などを随時更新公開している。

効率化を図るためクラウドを利用したグループウェアシステムを導入、学習効果を上げると共に、授業準備など効率を図っている。

② 組織運営体制の強化推進

社会経済のニーズを踏まえ、平成30年度より国際航空ビジネス科を新千歳空港キャンパスに移転し、定員を40名から80名に増員、さらに男女共学とした。

更に、本格的なモックアップ施設(キャビントレーニングセンター)を新設し、より実務に即した実践教育を行い航空業界の即戦力となる人材の育成により、本校の特色を示している。

また、3学科の教育カリキュラムは「職業実践専門課程」として文部科学大臣より認定を受けており、新千歳空港、羽田空港でのインターンシップなど数社の企業とのコラボレーションを行っている。さらに、教育スタッフに現役のCAやエアライン整備士を配置し、企業と連携して教育を行っている。

③ 危機管理体制

平成30年9月6日に発生した胆振東部地震を鑑み、規程類集、危機管理マニュアルを整備した。

(2) 教育関係

教育課程

① 航空整備科

－ 航空整備士、航空機及び航空宇宙関連機器製造技術者の育成 －

- ・航空工学の各分野の基礎を理解している。
- ・航空機整備技術を身につけ資格を取得する。
- ・金属加工、溶接、塗装など、材料の加工技術が身につけている。
- ・航空機の各システムの構成、機能及び作動を理解している。
- ・航空機エンジンの理論、構造及び機能を理解している。
- ・電気、電子技術の知識、電子回路図を理解している。
- ・航空関連法規を理解し実務的運用ができる。
- ・非破壊検査等、部材の検査ができ、安全性を評価できる。
- ・航空機及び航空機用機器の製造、修理の方法を理解し資格を取得する。

[取得可能資格]

一等航空整備士 (学科)	二等航空整備士	二等航空運航整備士
航空工場検査員 (ジェットエンジン)	非破壊検査技術者 (実務経験以外)	
航空無線通信士	航空特殊無線技士	TOEIC 危険物取扱者 など

[就職先概要]

(株)JAL エンジニアリング	ANA ラインメンテナンステクニクス(株)
ANA ベースメンテナンステクニクス(株)	(株)フジドリームエアラインズ
(株)スターフライヤー	スカイマーク(株) Peach Aviation(株) (株)三菱重工業

(株)IHI 航空宇宙事業本部 川崎重工業(株)
など エアライン、大手重工業、航空宇宙機器製造関連企業

② 空港技術科

－ グランドハンドラーの育成 －

- ・ グランドハンドリングの基礎を理解している。
- ・ 航空物流の基礎を理解している。
- ・ 空港施設の基礎を理解している。
- ・ 航空機地上支援車両の特性を理解し操作ができる。
- ・ グランドハンドリングに必要な資格を取得する。
- ・ 航空貨物取扱いの資格を取得する。

[取得可能資格]

大型特殊自動車運転免許 牽引自動車運転免許 高所作業車運転技能講習終了証
フォークリフト運転技能講習終了証 車両系建設機械運転技能講習終了証
航空特殊無線技士 第二級陸上特殊無線技士 IATA 国際航空貨物取扱士
IATA 航空貨物危険物取扱士 危険物取扱者 など

[就職先概要]

(株)JAL グランドサービス (株)JAL グランドサービス札幌 ANA 新千歳空港
ANA エアポートサービス (株)ジェットスター・ジャパン(株) (株)エスエーエス
(株)キャスト NCA Japan(株) (株)ENEOS サンエナジー 三愛石油(株)
など空港関連企業

③ 国際航空ビジネス科

－ キャビンアテンダント、グランドスタッフの育成 －

- ・ 航空機のしくみや原理を理解している。
- ・ 空港、航空輸送等、航空機とその関連業務に関して理解している。
- ・ 外国人とのコミュニケーションがとれる。
- ・ 接客サービスの基本を理解し行動できる。また、障害者への対応ができる。
- ・ パソコンを使って、情報の収集、報告書の作成とプレゼンテーション、データ解析ができる。

- ・公共交通機関であるエアラインは安全運航のためにどのような取り組みをしているのか、保安と安全の重要性を認識できる。
- ・安全性、快適性、定時性をふまえた行動がとれる。
- ・業務システムを把握して、改善策を検討することができる。
- ・エアラインサービスの多様化を学び、LCC の特徴とレガシーキャリアとの違いを理解できる。

[取得可能資格]

実用英語技能検定	T O E I C	中国語能力検定	秘書技能検定
サービス接遇実務検定	旅行地理検定 (国内・国際)	日赤救急法基礎講習受講証	
ビジネス能力検定	Microsoft Office Specialist	など	

[就職先概要]

全日空輸(株)	ANA 新千歳空港(株)	(株)JAL スカイ札幌	スカイマーク(株)
(株)AIR DO	スカイマーク(株)	バニラエア(株)	ANA ウイングス(株)
ANA エアポートサービス(株)	ANA 成田エアポートサービス(株)	(株)エスエーエス	などの航空／空港関連企業

(3) 特色教育の推進

平成 30 年から e ラーニングを導入、新たにモックアップも完備した環境の下、教育を進めております。

また、現在、英語教育に力を入れており、国際航空ビジネス科では以前から留学制度もあるため、力を入れておりましたが、今後は航空整備科や空港技術科においても、航空業界における英語の大切さ、必要性について教育しております。本年は、学園所有の長野県車山の宿泊施設で、国内留学を実施、英語のみ使用可能な合宿を行いました。

モックアップにつきましても、授業で使用するのは勿論のことですが、外部企業の訓練受入を実施する等、色々と試行錯誤をし、アイデアを出しております。

e ラーニングについては、昨年からは開始し、徐々に使い方にも慣れ、その効果も出ております。航空整備科で実施しております技能審査でも、不合格者が減少、再審査でも審査員から高い評価を頂いております。また、学内の中間・期末試験の結果でも、明らかに平均点が上がっております。

冒頭で触れております、英語教育では、T O E I C の点数が、従前では 600 点台で高得点と言われておりましたが、e ラーニングの導入後は 800 点台も出てきており、700 点台も増えています。高得点の認識が 600 点台から 700 点台に変わってきています。

学生数については、平成 31 年 3 月の卒業生が 217 名に対して、4 月新入学者が 301 人と 84 名の学生が増加致します。このため、一昨年新築した女子寮を増築する工事を進

めています。さらには、校舎も2棟新築する工事も進めております。
少子化の時代ではありますが、順調に学生数も伸びており、今後も航空業界の即戦力を
育てて参ります。

(4) 学生生徒募集・広報活動

- 募集会議の定期的な開催
- オープンキャンパスの体験内容の変化
毎回同じ内容ではなく、開催月ごとに内容を変え何度参加しても楽しめるような内容の工夫を行っている。(2回以上参加の学生の出願率が高いことから、リピーターを増やし受験対象者の取り込みを図る目的)
- 学校見学の受け入れ件数の増加
小学校～高校の職業体験やインターンシップの受入れを実施。
学校見学からのオープンキャンパス参加者がいること、学校の宣伝にもなることから積極的に受入れている。
- 教員の募集活動への参加
学科と募集部の担当者レベルでのコミュニケーションを図りやすくし、情報共有を密に行うようにしている。
- 併設校への募集活動
山梨校、石川校、東京と千歳通信制課程へ単独説明会を実施、通信は夏休み中に4日間に渡りスクーリングの受入れ。
山梨と石川については、スーパーオープンキャンパスへの協力をし、その中でイベントとしてそらゼミを実施。徐々に併設校からの入学者が増加している傾向にある。
- メールマガジンの配信
学生募集システム(リューノス)に登録されているメールアドレス保有している個人へ、イベントの告知としてメールマガジンを定期配信している。
配信後、申し込みが来ることから一定の効果が見受けられる。
- SNS更新頻度の上昇
グループLINEを使い教職員から情報を提供してもらい、SNS(Twitter、Instagram)の更新頻度を上げたことによりフォロワーが徐々に増えている。
- 航空整備科PR動画の作成
ANA、JAL、AIRDOに協力頂き、航空整備士の魅力を伝える映像を作成。
既にオープンキャンパスなどのイベントで流しており、わかりやすく整備士について説明を行うツールとして有効である。
今後空港技術科、国際航空ビジネス科も各企業に協力頂き動画の作成を行う予定。

(5) 学生生徒活動への支援

① クラブ活動等

千歳 JAL 国際マラソンへの参加

バスケットボール千歳市内社会人試合への参加

バドミントン北海道私立専修学校各種学校札幌大会への参加

② 課外活動への支援

各種ボランティアへの参加

(6) 施設設備整備

① 既存校舎の改修状況

・学校内外灯設置

② 新校舎（寮）建設工事

・キャビントレーニングセンター新築(平成 29 年 11 月)

・女子寮新築(平成 30 年 2 月)

・上記、女子寮増築(200 名収容→280 名収容) (令和元年 8 月)

・校舎 2 棟新築 (令和元年 11 月)

・基本技能審査室の新築 (令和元年度中)

③ 実習機材整備

・ボーイング 737 モックアップ設置

【(専) 日本航空大学校】

(1) 管理、運営方針

① 学校の教育目標・理念・特色

本校は、学校教育法及び私立学校法に基づき、高等学校における教育の基礎の上に心身の発達に応じて、一般教育並びに工業分野及び商業実務分野における専門教育を施すことを目的とする。

教育理念として、「自由と規律」「共感共創」「長所伸展」「国際理解」を定め、航空教育の中心となる安全教育を母体とした生活行動基準教育と責任感を醸成させるための道徳教育の基盤の上に、知育、体育を置いている。

全国で唯一空港に隣接した高等学校を併設しており、学科毎に異なる目標と進路を設定することにより、パイロット、CA、グランドスタッフ、整備士、設計技術者など航空従事者を目指す教育を展開している。高校より徳育を中心とした人間教育に力を入れ、高専一貫教育により毎年多数の人材を航空業界へ輩出している。

② 組織運営体制の強化推進

社会経済のニーズを踏まえ、平成29年度より航空整備技術科を再編し、同学科の中にドローンコースと海洋コースを設置し、ドローン活用の可能性について市町村行政・防災担当、消防、広報、消防署等と連携するとともに、企業との協同教育の在り方について検討を進めている。

更に、4年制課程を設置した操縦科において平成31年度は初めての卒業学年を迎える年にあたり、大手航空会社をはじめパイロット養成需要に応じる体制を整えるとともに、国土交通省航空局・各航空会社・育成機関によって成るパイロット育成のための奨学金『未来のパイロット』と同奨学金運営委員会に参加し、パイロット不足解消のための組織運営体制の強化に努めている。

4年制課程を持つ学科においては大学院進学資格を持つ高度専門士資格を付与することで、卒業生が4年制大学と同等の卒業資格を得ることができるようになっているとともに、航空工学科が文部科学大臣から「職業実践専門課程」の認定を受け、教育課程の編成や産学協同教育を行うことにより、教育の高度化を進めている。

③ 危機管理体制

平成19年3月25日に発生した能登半島地震を鑑み、例年、避難訓練、消火訓練、行方不明者捜索訓練、放水訓練を実施している。また車輛事故、災害対応と危機対応のための規定類集整備を進めている。

2 教育関係

教育課程

① 航空工学科

ア) 教育方針

最新技術の粋を集める航空機を設計する技術者を養成する

イ) 学科内容

航空工学の基礎を学び、航空機設計、製作及び研究を通して専門知識を身につける。航空力学等の学科教育に加え、CADを用いた3次元設計、航空機解析等の実務教育を行う。

[取得可能資格]

CAD利用技術者試験（3次元、2次元 1級、2級）
機械設計技術者試験 3Dプリンター活用技術検定 大学院受験資格
色彩検定 トレース技術検定試験（1～4級） テクニカルイラストレーション（2・3級）
ビジネス能力検定 航空特殊無線技士 航空特殊無線技士
第二種陸上特殊無線技士 航空工業検査員（原動機・航空機）
品質管理検定 危険物取扱者 J検 TOEIC
実用英語技能検定 航空検定（1級・2級・3級） など

[就職先概要]

(株)三菱重工業 (株)IHI 航空宇宙事業本部 川崎重工業(株)
(株)日産オートモティブテクノロジー (株)加藤製作所
(株)SUBARU 航空宇宙カンパニー (株)ジャムコ
エアバスヘリコプターズジャパン(株) など 大手重工業、航空宇宙機器製造関連企業

② 航空整備科

ア) 教育方針

空の安全を預かる航空整備士を養成する

イ) 学科内容

一等航空運航整備士養成課程

YS-11 型機の一等航空運航整備士の業務に必要な知見及び技術を習得する
二等航空運航整備士（回転翼航空機）国土交通大臣指定航空従事者養成施設
の指定を受けている

航空機整備訓練課程

航空整備士の業務に必要な知見及び技術を習得する
国土交通省大臣指定航空機整備訓練課程の指定を受けている

[取得可能資格]

一等航空運航整備士 二等航空運航整備士（回転翼航空機） 航空整備士実務経験 航空無線通信士 航空特殊無線技士 第二級陸上特殊無線技士 基本情報技術士 パソコン検定 TOEIC 実用英語技能検定 ビジネス能力検定 航空検定（1級・2級・3級） など

[就職先概要]

JAL、ANA 等の整備系列会社 LCC 等のエアライン 航空機製造会社の技術職（三菱重工、川崎重工、IHI など）
--

③-1 航空整備技術科（技術コース）（ドローンコース）

ア) 教育方針

航空整備技術者として必要な航空工学と実戦での航空機取得及び製造・修理法を習得する。特に航空機基本技術である板金加工技術、溶接技術及び非破壊検査は実務に対応できる技術者を養成する。

イ) 学科内容

航空整備士の学科試験合格レベルの学科教育と実技教育では各種資格取得までの技能訓練を行う。また、航空機に限らず、車両整備・製造についても学ぶ

[取得可能資格]

危険物取扱者 航空特殊無線技士 航空無線通信士
第二種陸上特殊無線技士
磁粉探傷非破壊検査技術者（学科のみ）
浸透探傷非破壊検査技術者（学科のみ）
ガス溶接技能講習 ビジネス能力検定 航空検定（1級・2級・3級）
実用英語技能検定 CAD利用技術者試験
航空機構造組立初心者講習 TOEIC トレース技術検定 など

[就職先概要]

航空機製造会社に技能職で就職（三菱重工、川崎重工など）
《航空機》
（株）三菱重工業 （株）SUBARU 航空宇宙カンパニー
（株）IHI 航空宇宙防衛領域 （株）IHI キャスティング （株）ジャムコ
東明工業（株） （株）エアロ
《重機》
日本キャタピラー合同会社 KOMATSU カスタマーサポート（株）
日立建機（株） （株）加藤製作所
《その他》
ヤンマーエネルギーシステム（株） 川重冷熱工業（株） 日本機械（株）
K-TEC（株） カワサキロボットサービス（株） ヤマハ発動機（株）
IHI 運搬機械（株） など

③ー２ 航空整備技術科 （ドローンコース）

ア) 教育方針

無人航空機開発技術者として必要な航空工学と、無人航空機取り扱い及び製造・修理法を習得する。特に基本技術である操縦技術、プログラミング能力は実務に対応できる技術者を育成する。

イ) 学科内容

産業用無人航空機開発メーカー採用レベルの技術習得と、無人航空従事者試験1級レベルの学科教育を行う

[取得可能資格]

航空特殊無線技士 航空無線通信士
第二種陸上特殊無線技士
無人航空機送受技能証明 無人航空機用途別技能証明（航空測量）
無人航空機用途別技能証明（教育）
無人航空従事者試験 など

[就職先概要]

産業用無人航空機開発メーカー（プロドローン、エアロセンスなど）
無人航空機使用事業（テレビ制作会社、測量会社、農業など）

④ 操縦科

ア) 教育方針

操縦士としての必要な教育及び訓練を行い、資質の高い人間性豊かなプロパイロットを養成する。

イ) 学科内容

- ・ 空港、航空輸送等、航空機とその関連業務に関して理解している
- ・ 外国人とのコミュニケーションがとれる
- ・ 公共交通機関であるエアラインは安全運航のためにどのような取り組みをしているのか、保安と安全の重要性を認識できる
- ・ エアラインサービスの多様化を学び、LCC の特徴とフルサービス・キャリアとの違いを理解できる

[取得可能資格]

自家用操縦士 飛行機（陸上単発、多発） 事業用操縦士 飛行機（陸上単発、多発）
計器飛行証明 米国自家用操縦士（陸上単発、多発）
航空特殊無線技士 航空無線通信士
TOEIC 実用英語技能検定 ビジネス能力検定
航空検定（1級・2級・3級） など

[就職先概要]

ジェットスタージャパン(株) スカイマーク(株) JAC（日本エアコミューター）(株)
ANA WINGS(株) (株)スターフライヤー 共立航空撮影(株)
アイベックス・アビエーション(株) 本田航空(株) 佐賀航空(株) 新中央航空(株)
航空運送事業会社及び航空機使用事業会社各社 など

⑤ 航空ビジネス科

- ー キャビンアテンダント、グラウンドスタッフ等の育成 ー
- ・航空機のしくみや原理を理解している。
 - ・空港、航空輸送等、航空機とその関連業務に関して理解している。
 - ・外国人とのコミュニケーションがとれる。
 - ・接客サービスの基本を理解し行動できる。また、障害者への対応ができる。
 - ・パソコンを使って、情報の収集、報告書の作成とプレゼンテーション、データ解析ができる。
 - ・公共交通機関であるエアラインは安全運航のためにどのような取り組みをしているのか、保安と安全の重要性を認識できる。
 - ・安全性、快適性、定時性をふまえた行動がとれる。
 - ・業務システムを把握して、改善策を検討することができる。
 - ・エアラインサービスの多様化を学び、LCCの特徴とレガシーキャリアとの違いを理解できる。
 - ・3年制については、2年次に海外へ留学する

[取得可能資格]

サービス接遇検定（2級、3級） 赤十字救急法救急員 TOEIC 中国語検定 実用英語技能検定 ビジネス能力検定 手話検定 航空検定（1級・2級・3級） サービス介助士 など
--

[就職先概要]

(株)JAL グランドサービス (株)JAL スカイ (株)K スカイ スカイマーク(株) (株)フジドリームエアラインズ ANA ウイングス(株) (株)ドリームスカイ名古屋 (株)スカイサポートサービス ANA 中部空港(株) ANA 関西空港(株) ANA 新千歳空港(株) ANA エアポートサービス(株) (株)エアドゥ (株)スターフライヤー (株)ソラシドエア 日本航空(株) 全日本空輸(株) ANA エアポート沖縄(株) JAL スカイエアポート沖縄(株) ANA スカイビルサービス(株) など

(3) 特色教育の推進

各学科とも、学科と職業が密接に結びついた特色教育を推進している。

航空工学科：航空機設計の世界標準ソフト C A T I A を活用した航空機設計技術者育成のため、画面上の動作確認、解析作業、ベリカット導入（モデル作成、シミュレーション操作）を進めるとともに、設計作業を視覚確認するためのものとして切削加工機・3Dプリンターを導入しているが、本年度新たに大型3Dプリンターを導入し、より高度な制作を可能とする教育を推進できるようにした。

航空整備技術科：航空機（飛行機、ヘリ等）の整備士を育成するための専門教育を提供している。大型航空機 Y S - 1 1 実機を活用し、国土交通省航空局の指定養成機関として一等航空運航整備士を育成している。

また回転翼航空機においても指定養成機関として、二等航空運航整備士を育成している。

航空整備技術科：航空機製造技術者を育成するための専門教育を提供している。

またドローンパイロット等を育成するためのコースを創設し、ドローンを活用した操縦士、測量士、カメラマン、研究開発者等を育成している。

操縦科：エアラインパイロットを育成するための専門教育を提供している。

操縦技能向上のためのシミュレーターの導入や、ジェット機などの新たな航空機の活用、より高度な教育機会の提供などを検討している。

航空ビジネス科：キャビンアテンダントやグランドスタッフ等を育成するための専門教育を提供している。とりわけ英語能力やコミュニケーション能力、素養・資質を求められるため、専門力強化のための授業・実習を行うとともに、留学など特別な機会の提供も行っている。

また学校全体においては平成 30 年から e ラーニングシステムを導入したことに伴い、通信回線を倍増し、校内無線 LAN を安定して提供できるように努め、教員タブレット端末、大型ディスプレイまたはプロジェクターを活用した ICT 教育を推進している。

(4) 学生生徒募集・広報活動

○ オープンキャンパスで提供する体験

校内の格納庫で多数の航空機を見て触る、エプロンでは大きな音で稼働する大型飛行機（YS-11）を体感するなど、航空業界への進路を考える参加者への強い契機となるオープンキャンパスを開催。また、在校生の参加により学生生活・寮生活などの生きた情報を提供している。

○ 航空会社と共同開催する「そらゼミ」

日本全国の空港において、航空会社と連携し「そらゼミ」を開催。航空業界に身近に触れることのできる機会を提供するため、日本航空専門学校と共同で「そらゼミ」を行っている。

○ 教員の募集活動への参加

通常の募集活動の他、進学ガイダンス参加者や、訪問先学校の学年・クラス単位でドローン体験講座、出前授業、ビジネスマナー講座を開催することで多数の生徒に教育の内容に触れてもらい、多数の方に航空教育を提供できるよう努めている。

○ 併設校への募集活動

日本航空高等学校（山梨）、日本航空高等学校石川在校生へ進学説明会を実施。また内定が決まった学生による内定報告会、航空業界で活躍しているOB・OGが参加するそらゼミを実施。これらの取組の結果、日本航空高等学校石川を中心に併設校から多数の入学者を迎えている。

○メール配信

学生募集システム（リユーノス）に登録されているメールアドレス保有している個人へ、イベントの告知として随時メール告知を実施している。
配信後、申し込みが来ることから一定の効果が見受けられる。

○SNS 更新頻度の上昇

グループLINEを使い教職員から情報を提供してもらい、SNS（Instagram等）で発信することにより、新入生・保護者等を中心にフォロワーが増加している。

【日本航空高等学校】

(1) 管理、運営方針

① 学校の教育目標・理念・特色

本校は、学校教育法及び私立学校法に基づき、「人材こそ我が国の資源」と考え、生徒一人一人が航空従事者になるための必要な学力や技術力はもちろん、航空教育を通して道徳観・倫理観を身につけることを目的とする。

教育理念として、「自由と規律」「共感共創」「長所伸展」「国際理解」を定め、航空教育の中心となる安全教育を母体とした生活行動基準教育と責任感を醸成させるための道徳教育の基盤の上に、知育、体育を置いている。

日本航空学園の教育を為す4つの教育理念を次の世代へ受け継ぐと共に、新たな時代のスローガンをCHANGE（変革）、CARGE（蓄積）、CHALLENGE（挑戦）とし、発展著しい航空業界や、これからの社会において必要とされるキャリア教育、技術者教育、国際教育を果敢に追求し、多くの知識や多様な価値観に触れて羽ばたく卒業生の姿こそ我が喜びであり、日本航空学園の使命である。

② 組織運営体制

本校には、2つの学科と7つのコースを設けている。

航空科にはキャビンアテンダントステージ、航空ジェネラルステージが設けられており、航空業界を目指す生徒の夢を実現することができるコースがある。

普通科には、航空プレミアム特進コース、スポーツ・芸術特進コース、総合コース、スポーツコース、芸術コースの5つのコースがあり、生徒が得意分野を大きく伸ばす事ができるコースを用意している。

③ 危機管理体制

平成26年3月25日に発生した山梨県の豪雪を鑑み、例年、避難訓練、消火訓練、行方不明者捜索訓練、放水訓練を実施している。また車輛事故、災害対応と危機対応のための規定類集整備を進めている。

寮生650名分の食料一週間分の備蓄や発電機を設置して、有事の際に備えている。

(2) 教育関係

教育課程

① 航空科

キャビンアテンダントステージ：キャビンアテンダントを目指します

航空ジェネラルステージ：航空機整備全般を学びます、プロパイロットを目指します

② 普通科

航空プレミアム特進コース：大学進学やパイロット、客室乗務員を目指します

スポーツ・芸術特進コース：スポーツ、芸術で高みを目指しながら、学力向上を目指します

総合コース：文理科目を伸ばすだけでなく、語学学習にも力を入れている

スポーツコース：スポーツにしっかりと打ち込める環境があります

芸術コース：ダンス、和太鼓を通じて礼儀作法や協調性を学ぶことができます

③ 通信制課程

航空科：航空機の基本技術や構造・仕組みなどの専門知識を学びます。

普通科：主要5教科を中心には幅広い分野を学びます。

[取得可能資格]

アクセス技能検定 ビジネス能力検定 秘書検定 中国語検定
PRIVATE PILOT (FAA) ※アメリカ留学希望者
自家用操縦士技能証明 危険物取扱者 フォークリフト運転技能資格
高所作業者特別教育 ガス溶接資格 アーク溶接資格 航空特殊無線技士
パソコン検定 TOEIC 実用英語技能検定
航空検定 (1級・2級・3級) など

[進学、就職先概要]

【進学】

山梨大学 都留文科大学 滋賀大学 東京学芸大学 防衛大学校 上智大学 明治大学
立教大学 青山学院大学 中央大学 専修大学 日本大学 大東文化大学 東洋
大学 桜美林大学 東海大学 拓殖大学 帝京大学 東京農業大学 日本体育大学
順天堂大学 国士舘大学 明星大学 駒沢女子大学 神奈川大学 立正大学 東京国
際大学 関東学院大学 国際武道大学 中央学院大学 千葉商科大学 明海大学 尚

美学園大学 城西大学 埼玉工業大学 駿河台大学 帝京科学大学 山梨学院大学
名古屋経済大学 名古屋商科大学 中部大学 北陸大学 新潟経営大学 新潟医療福
祉大学 青森大学 同志社大学 立命館大学 関西大学 近畿大学 阪南大学 大阪
体育大学 神戸国際大学 福山平成大学 立命館アジア太平洋 他多数

【就職先】

羽田空港サービス株式会社 JR 東海 ジャパンマリンユナイテッド株式会社 関東興
産株式会社トヨタホーム 株式会社メイワスカイサポート トヨタ自動車株式会社
日野自動車株式会社 陸上自衛隊 航空自衛隊 海上自衛隊 高原病院 株式会社シ
ャトレゼ ワタキューセイモア 国土興産株式会社 蔵王食品株式会社 株式会社
アールエフ KOA 株式会社匠の里 特殊東海製紙株式会社 長野松代総合病院 翔栄
工業 抱月工業株式会社 株式会社佐川急便

(3) 特色教育の推進

生徒の特色を伸ばす長所伸展の教育

本校は教育のテーマパークと位置づけ4つの柱を軸として教育を展開しています。「航空」「スポーツ」「芸術」「進学」のテーマのもと、プロの教師陣と日本屈指の教育施設をもって、6単位選択制にて生徒の自主性と長所を伸ばすカリキュラムを用意しています。

「航空」について

高専大一貫教育として航空業界に即戦力として活用される人材となるため高校時代では基礎と心構えを学びます。指導に当たるのは全て航空業界に従事し、一線で活躍していたプロの教師です。

「スポーツ」「芸術」について

各分野に於いて、日本一を目指し、全競技、種目に専用練習場、武道館、体育館、スタジオを有し、空調やナイター設備、人工芝グラウンド等、最高の環境でオリンピック、全日本等の監督経験者をはじめ、優秀な指導者の教育を受けることができます。また、ダンスや和太鼓を通じて、表現力を身に付けて、礼儀や心構え、協調性を学ぶことができます。

「進学」について

旧帝大レベルの大学、有名私立大、防大、航空学生などを目指す生徒にも集中して学べる「雄飛学塾」を用意し、元学習塾講師であった教育が学力アップのノウハウを生かし授業時間外で3年間約5,000時間の学習を確保するプログラムがあります。英語力の向上の為

の英語曲歌唱、丸一日勉強漬けの強化学習「学力向上大会」など、幅広いニーズに合わせて様々な工夫を凝らしたカリキュラムで学力を伸ばします。

(4) 学生生徒活動への支援

① 部活動等

本校は山梨県高校総体に過去6回優勝するなど、各クラブが全国レベルにある。複数の強化クラブがあり、日本航空学園の教育方針に従って学生生徒を親の立場で支える保護者の会の総称である雄飛会の支援も受け、部活動にいそしむ生徒たちは日々心身の育成につとめている。

全国大会出場クラブ

空手道部男女、卓球部男女、バレーボール部男女、剣道部、ボクシング部
蹴球部（全国高等学校サッカー選手権）

② 課外活動への支援

学校の地域貢献推進の一環として、種々のボランティアや地域行事に参加している

4月下旬 甘利山春の草刈りボランティア

5月中旬 北杜市ふるさとウォーキング先導ボランティア

6月下旬 6.26 薬物乱用防止ヤング街頭キャンペーン(募金活動)

7月上旬 あげぼの支援学校交流会

7月下旬 甲斐市内福祉施設にてボランティア

8月初旬 富士山美化啓発キャンペーン(ゴミ袋配布・清掃活動・世界遺産研修会)

10月中旬 甘利山秋の草刈りボランティア

11月下旬 赤い羽根共同募金

12月中旬 あげぼの支援学校交流会

2月初旬 外国人を囲む甲斐市地域交流会

③ 校外学習

団体活動を通じて、社会性の習得及びリーダーシップを育成すること、自然を理解し、環境への適応性を養い、物事に感謝する心と質実剛健の気風を体得すること、生徒間の交流を深め、1学年及びクラス間の団結を強めることを目的とし、校外学習を実施。

④ 日本航空学園オリジナルミュージカル開催

9/22 ダンスカンパニー所属生徒及び、オーディションに合格した近隣在住の小中学生による日本航空学園オリジナルミュージカル「Live Airline エピソード0」を開催。甲斐市双葉ふれあい文化館を会場として舞台監督、照明設備、音響設備を全て外部より持ち込むプロ仕様のミュージカルを実施。

【日本航空高等学校石川】

(1) 管理、運営方針

① 学校の教育目標・理念・特色

本校は、学校教育法及び私立学校法に基づき、「人材こそ我が国の資源」と考え、生徒一人一人が航空従事者になるための必要な学力や技術力はもちろん、航空教育を通して道徳観・倫理観を身につけることを目的とする。

教育理念として、「自由と規律」「共感共創」「長所伸展」「国際理解」を定め、航空教育の中心となる安全教育を母体とした生活行動基準教育と責任感を醸成させるための道徳教育の基盤の上に、知育、体育を置いている。

日本航空学園の教育を為す4つの教育理念を次の世代へ受け継ぐと共に、新たな時代のスローガンをCHANGE（変革）、CARGE（蓄積）、CHALLENGE（挑戦）とし、発展著しい航空業界や、これからの社会において必要とされるキャリア教育、技術者教育、国際教育を果敢に追求し、多くの知識や多様な価値観に触れて羽ばたく卒業生の姿こそ我が喜びであり、日本航空学園の使命である。

② 組織運営体制

生徒の3分の2がすでに航空業界への就業という目標をもって入学する本校では、進路を実現するための一助として2つのコースと5つの専攻を設けている。

生徒の進路の目的地を「航空業界への就職」として設置、このために航空科の中に航空工学コースと普通科コースを設け、前者に①アビオニクス専攻、②メカニクス専攻、後者に③キャビンアテンダント専攻、④パイロット専攻、⑤普通科専攻を設け、生徒が卒業後に、日本航空大学校、日本航空専門学校、航空大学校、防衛大学校、4年制大学などの進路を経ながら、目的に達することができるような編成を組んでいる。

③ 危機管理体制

平成19年3月25日に発生した能登半島地震を鑑み、例年、避難訓練、消火訓練、行方不明者捜索訓練、放水訓練を実施している。また車輛事故、災害対応と危機対応のための規定類集整備を進めている。

(2) 教育関係

教育課程

① 航空科

航空工学コース

アビオニクス専攻：航空電子を中心に学び、電気系航空エンジニアを目指す

メカニック専攻：航空機の機械関係を学び、エアライン整備士や重工関係を目指す

普通科コース

パイロット専攻：パイロットライセンスを取得。高専一貫でプロパイロットを目指す

キャビンアテンダント専攻：キャビンアテンダントや空港グランドスタッフとして活躍できる人材を目指す

普通科専攻：4年制大学や防大・航空学生、公務員、クラブでの活躍などを目指す

[取得可能資格]

自家用操縦士 飛行機（陸上単発、多発）
航空特殊無線技士 第二種陸上特殊無線技士
危険物取扱者 ガス溶接技能講習 トレース技術検定試験（1～4級）
パソコン検定 TOEIC 実用英語技能検定
航空検定（1級・2級・3級） など

[就職先概要] ※併設校卒業後進路含む

【パイロット】

航空自衛隊 航空学生 海上保安庁 操縦課程 (株)スターフライヤー (株)フジドリームエアラインズ アイベックスアビエーション(株) ANA ウイングス(株) スカイマーク(株)

【CA・グランドスタッフ】

全日本空輸(株) 日本航空(株) ソラシドエア(株) (株)ジェイエア 春秋航空(株)
バニラエア(株) スカイマーク(株) ジェットスター・ジャパン(株) (株)AIR DO
(株)フジドリームエアラインズ ANA スカイビルサービス(株)
ANA エアポートサービス(株) ANA 成田エアポートサービス(株) ANA 新千歳空港(株)
ANA 大阪空港(株) (株)K スカイ (関西空港) 羽田エアグランドハンドリング(株)
(株)JAL スカイ (成田、羽田空港) (株)JAL スカイ那覇
スイスポートジャパン(株) (成田、中部国際空港)
(株)スカイ・サポート・サービス (関西国際空港) (株)ドリームスカイ名古屋
(株)FMG エアサービス (成田、羽田空港) (株)北鉄航空 (小松空港)
北陸名鉄開発(株) (能登空港)

【整備関係】

ANA ベースメンテナンステクニクス(株) ANA ラインメンテナンステクニクス(株)
ANA エンジンサービス(株) ANA コンポーネントテクニクス(株)
(株)JAL エンジニアリング (株)ジェイエア ピーチ・アビエーション(株)
バニラエア(株) スカイマーク(株) (株)ジャネット

【設計・製造・検査】

三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所
三菱重工業(株) 名古屋誘導推進システム製作所
(株)MHI エアロスペースプロダクション (株)IHI (株)IHI 航空宇宙事業本部
(株)IHI エアロスペース (株)IHI ジェットサービス
ジャパンマリンユナイテッド(株) 川崎重工業(株) 川重岐阜エンジニアリング(株)
日本飛行機(株) 川重冷熱工業(株) カワサキロボットサービス(株)
新明和工業(株) (株)エアロ (株)第一システムエンジニアリング
(株)SUBARU 航空宇宙カンパニー 中日本航空(株) 東明工業(株)
東航エンジニアリング(株) エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)
ジャムコ(株) ダイヤモンドサービス(株) 朝日航洋(株)

【上記以外の企業】

澁谷工業(株) (株)日本テクシード ヤマハ発動機(株) (株)日産自動車
YKK(株) KYB(株) 大同工業(株) ヤンマー(株) キャタピラーウエストジャパン(株)
(株)ファブリカトヤマ 石川サンケン(株) (株)小松製作所

(3) 特色教育の推進

国内でただ一つの空港に隣接した高校

本校は日本国内では唯一、空港に隣接した高等学校である。(専)日本航空大学校を併設することにより、キャンパス内には大型機、小型機、回転翼機の3つの機体格納庫をはじめ、2,000メートルの滑走路を持つ”のと里山空港”滑走路につながるエプロン(駐機場)、ジェットエンジンやレシプロエンジンなどの実習室を併せ持つ、実践的な航空教育を行うことができる高等学校である。

高専一貫教育

(専)日本航空大学校を併設し、連携した教育を行うことにより早期のスキルアップを果たすことができる。パイロット専攻においては航空留学制度を設け、高校在籍中に自家用操縦士免許を取得し、併設校に進学した後に事業用操縦士免許取得に進めるようにステップアップできる制度が設けられている。

またCA専攻コースにおいては、メイクレッスンやマナー講習など多くの実績を高校在籍中に積むことが可能となっており、語学留学制度を代表とした語学力強化のための取り組みも高校在籍時からさまざまに行われている。

人間教育

本校では成績一辺倒ではなく、クラブ活動や学校行事など学業以外の活動も重要視している。クラブ活動において集中力や人間力を高めた生徒は併設校入学後飛躍的な成績向上と非常に優位な就職活動を行うことが多い。また、3年間の高校生活を「ドラマ」と位置づけ、生涯の記憶に強く刻み込まれるよう心掛けている。

国際教育

本校には、日本全国、また世界各地から「航空教育」のために生徒が入学する。日本人は英語や中国語などを通じた「語学教育」を受講し、留学は日本語教育を通じて文化や価値観を学び取る。

日本人と留学生が同じ教室で学び、食堂で同じ食事を摂り、共同生活においては同じ部屋で生活し、同じ風呂に入る。こうした経験は「価値観の尊重」や「文化の相互理解」を生み、互いを思いやる価値観を生み出すことができる。

また、語学力向上のための語学留学や、修学旅行における海外現地研修などを通じて広い視野・見聞を持たせている。

(4) 学生生徒活動への支援

① 部活動等

本校には全国高校ラグビー大会への出場を続けるラグビー部、三度の全国高校野球選手権大会への出場を果たした野球部など、複数の強化部があり、日本航空学園の教育方針に従って学生生徒を親の立場で支える保護者の会の総称である雄飛会の支援も受け、部活動にいそしむ生徒たちは日々心身の育成につとめている。

(29年度県大会優勝、北信越大会以上の大会入賞実績)

- ・ ラグビー部 第19回北信越新人大会 優勝
- ・ ラグビー部 第4回高校7人制ラグビー 県大会優勝
- ・ ラグビー部 平成29年度中谷杯 優勝
- ・ ラグビー部 高校総体ラグビー 県大会優勝
- ・ ラグビー部 高校新人ラグビー 県大会優勝
- ・ 野球部 第99回全国高校野球選手権大会(夏) 出場(2回戦)
- ・ 野球部 第90回選抜高校野球大会(春) ベスト8
- ・ 野球部 明治神宮野球大会 ベスト8
- ・ 銃剣道部 全国銃剣道大会 第3位
- ・ 銃剣道部 第38回北信越国体 少年男子優勝
- ・ ヨット部 北信越大会女子FJ組第3位
- ・ ヨット部 高校新人体育大会 男子420級 第1位
- ・ グライダー部 第50回高校滑空選手権 全国 第一部準優勝、第二部第3位
- ・ ダンス部 全国高校ダンスドリル選手権2017 甲信越
ヒップホップ男女混成部門ラージ編成 第1位

② 課外活動への支援

学校の地域貢献推進の一環として、種々のボランティアや地域行事に参加している

- ・ 5/13 白米千枚田田植えボランティア 生徒94名参加
- ・ 5/15 三井小学校平成30年米造り体験活動(田植え)協力 生徒31名参加
- ・ 9/18 三井小学校平成30年米造り体験活動(稲刈り)協力 生徒39名参加
- ・ 9/23 白米千枚田稲刈りボランティア 生徒75名参加
- ・ 10/27 大沢間垣補修ボランティア 生徒30名参加
- ・ 11/11 石川県生育園祭ボランティア 生徒9名参加
- ・ 12/2 輪島朝市感謝祭～朝市食堂～ボランティア 生徒8名参加

③ 校外学習

団体活動を通じて、社会性の習得及びリーダーシップを育成すること、自然を理解し、環境への適応性を養い、物事に感謝する心と質実剛健の気風を体得すること、生徒間の交流を深め、1学年及びクラス間の団結を強めることを目的とし、校外学習を実施。

9/19 1年4組・5組

9/20 1年2組・6組

9/21 1年1組・3組

④ 日本航空学園オリジナルミュージカル開催

11/17 ダンスカンパニー所属生徒及び、オーディションに合格した近隣在住の小中学生による日本航空学園オリジナルミュージカル「永遠の歌」を開催。輪島市文化会館を会場として舞台監督、照明設備、音響設備を全て外部より持ち込むプロ仕様のミュージカル。

リハーサル1回、及び公演2回合わせ3回開催し、生徒は3回に分けて参加。1回あたり1,000人の方が参加し（在校生含む）、約3,000人の方が参加した。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

総資産額は10,631百万円で前年度に比べて1,538百万円の増加、負債総額は4,107百万円で前年度に比べ891百万円の増加、純資産総額は6,524百万円で前年度に比べ647百万円の増加となった。

資産総額の増加は現預金の増加が大きな要因であり、負債総額の増額は前受金の増加が大きな要因である。

② 収支計算書の状況

教育活動収入は5,347百万円となり、前年度に比して434百万円の増加となった。その主な内容は、学生生徒納付金の増加などによるものである。

教育活動支出は4,714百万円となり、前年度に比して132百万円の増加となった。その主な原因は、管理経費の増加などによるものである。なお当該年度より表示方法の変更として、補助活動の採算をより正しく開示するため給食課、寮に係る人件費を管理経費の補助活動費に変更している。

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位:千円)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
固定資産	7,690,269	8,811,439	8,860,457	7,031,729	7,156,594
流動資産	1,941,033	2,229,972	2,197,941	2,060,829	3,474,312
資産の部合計	9,631,302	11,041,411	11,058,398	9,092,558	10,630,906
固定負債	1,409,316	3,644,993	3,402,122	226,614	129,140
流動負債	4,121,350	3,237,217	3,271,899	2,988,873	3,977,762
負債の部合計	5,530,665	6,882,211	6,674,021	3,215,487	4,106,902
純資産の部	4,100,636	4,159,200	4,384,378	5,877,071	6,524,005
負債及び純資産の部合計	9,631,302	11,041,411	11,058,398	9,092,558	10,630,906

千円単位で表示する際、科目ごとに四捨五入しているため、合計額と差異が生じる場合があります。

② 収支計算書

ア 資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学生生徒納付金収入	2,083,571	2,350,256	2,676,317	2,837,193	3,001,509
手数料収入	29,483	34,580	36,432	36,480	48,642
寄付金収入	273,978	212,409	281,310	146,472	435,521
補助金収入	426,754	451,129	457,162	457,687	497,154
資産売却収入	90	3,871	784	5,359,085	6,045
付随事業・収益事業収入	541,505	593,966	680,226	1,255,486	1,219,081
受取利息・配当金収入	2,618	2,074	1,678	1,446	454
雑収入	81,281	60,578	127,554	234,329	182,729
借入金等収入	2,380,386	6,137,023	971,603	1,660,100	3,688,079
前受金収入	963,903	1,056,978	1,138,293	1,211,194	2,353,672
その他の収入	3,986,393	4,133,119	6,165,405	2,290,480	2,508,920
資金収入調整勘定	△1,143,130	△1,474,194	△1,343,993	△1,364,680	△1,410,842
前年度繰越収支払資金	922,191	1,442,847	1,363,049	1,221,261	1,774,161
収入の部合計	10,549,023	15,004,637	12,555,821	15,346,533	14,305,126

支出の部	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人件費支出	1,539,112	1,706,544	1,826,320	1,917,365	1,685,366
教育研究費支出	583,785	718,818	782,608	852,711	1,064,504
管理経費支出	740,132	781,861	932,037	2,510,398	1,661,584
借入金等利息支出	91,111	69,595	57,906	59,278	13,946
借入金等返済支出	2,085,286	4,975,271	1,305,394	5,493,685	3,794,546
施設関係支出	155,774	1,236,149	269,511	758,496	120,975
設備関係支出	192,422	269,055	222,022	554,725	98,630
資産運用支出	330	1,472	17,155	1,660,407	1,725,925
その他の支出	4,003,685	4,227,810	6,211,688	536,247	1,590,236
資金支出調整勘定	△285,461	△344,987	△290,080	△770,941	△572,240
翌年度繰越支払資金	1,442,847	1,363,049	1,221,261	1,774,161	3,121,655
支出の部合計	10,549,023	15,004,637	12,555,821	15,346,533	14,305,126

千円単位で表示する際、科目ごとに四捨五入しているため、合計額と差異が生じる場合があります。

イ 事業活動収支計算書

(単位:千円)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	
教育活動収支	収入の活動	学生生徒等納付金	2,083,571	2,350,256	2,676,317	2,837,193	3,001,509
		手数料	29,483	34,580	36,432	36,480	48,642
		寄付金	273,978	212,657	281,310	146,472	435,521
		経常費等補助金	426,754	451,129	456,140	455,071	497,154
		付随事業収入(※)	541,018	594,165	680,480	1,203,187	1,181,081
		雑収入	81,281	60,578	127,554	234,329	182,729
		教育活動収入計	3,436,085	3,703,366	4,258,234	4,912,732	5,346,636
	支出の活動	人件費	1,535,816	1,697,666	1,812,013	1,918,455	1,650,353
		教育研究経費	834,683	1,009,485	1,140,522	1,258,406	1,311,124
		管理経費	815,452	872,916	1,026,100	1,404,749	1,752,832
		徴収不能額等	0	0	0	200	0
		教育活動支出計	3,185,951	3,580,066	3,978,635	4,581,810	4,714,308
	教育活動収支差額		250,134	123,300	279,599	330,922	632,328
	教育活動外収支	収入の活動	受取利息・配当金	2,618	2,074	1,678	1,446
その他の教育活動外収入			0	0	0	52,299	38,000
教育活動外収入計			2,618	2,074	1,678	53,745	38,454
支出の活動		借入金等利息	91,111	69,595	57,906	59,278	13,946
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	91,111	69,595	57,906	59,278	13,946
教育活動外収支差額		△88,493	△67,522	△56,227	△5,533	24,507	
経常収支差額		161,641	55,778	223,372	325,389	656,835	
特別収支	収入の活動	資産売却差額	90	2,786	784	2,404,348	3,352
		その他の特別収入	0	0	1,022	32,666	0
		特別収入計	90	2,786	1,806	2,437,014	3,352
	支出の活動	資産処分差額	0	0	0	79,541	104
		その他の特別支出	0	0	0	1,190,169	13,150
		特別支出計	0	0	0	1,269,709	13,254
特別収支差額		90	2,786	1,806	1,167,305	△9,902	
〔予備費〕							
基本金組入前当年度収支差額		161,731	58,564	225,177	1,492,694	646,933	
基本金組入額合計		△288,928	△324,847	△406,654	△2,629,489	△242,893	
当年度収支差額		△127,197	△266,283	△181,476	△1,136,795	404,040	
前年度繰越収支差額		△11,888,814	△12,016,011	△12,282,294	△12,463,770	△7,840,627	
基本金取崩額		0	0	0	5,759,938	0	
翌年度繰越収支差額		△12,016,011	△12,282,294	△12,463,770	△7,840,627	△7,436,587	
(参考)							
事業活動収入計		3,438,794	3,708,225	4,261,718	7,403,491	5,388,442	
事業活動支出計		3,277,063	3,649,662	4,036,540	5,910,797	4,741,509	

(※)2015年度までは純額表示

千円単位で表示する際、科目ごとに四捨五入しているため、合計額と差異が生じる場合があります。

(3) 主な財務比率比較

比率名	算式	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	44.7%	45.8%	42.5%	38.6%	30.6%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	24.3%	27.2%	26.8%	25.3%	24.3%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	23.7%	23.6%	24.1%	28.3%	32.5%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入}}$	7.3%	3.3%	6.6%	6.7%	11.8%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	4.7%	1.5%	5.2%	6.6%	12.2%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	4.7%	1.6%	5.3%	20.2%	12.0%
負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総資産}}$	47.2%	52.8%	50.1%	22.0%	16.3%
負債償還率	$\frac{\text{借入金等返済支出(※)+借入金等利息支出}}{\text{事業活動収入}}$	36.5%	58.0%	24.8%	11.5%	4.6%

(※)年度内に償還期限が到来する借入金返済、及び繰上償還した借入金返済は除外